

第3回手稲山口地域協議会

<開催詳細>

- 日時 :令和4年6月26日(日) 13:00~15:30
- 場所 :山口処理場管理棟会議室
- 参加者 :手稲山口地区の住民等6名
- 事務局 :札幌市新幹線推進室、鉄道・運輸機構
- オブザーバー :札幌トンネル(星置)特定建設工事共同企業体(鹿島 JV)

■工事の現状と今後の見通しについて

<確認内容>

鉄道・運輸機構により、現在の工事状況と今後の工事予定について説明を行った。

<主なご意見>

- ・地盤改良機の振動等による農作物の生育への影響について確認してほしい。
- ・掘削土の運搬時や強風にも耐える粉じん対策を検討してほしい。
 - 地盤改良機の振動状況について、現地にて確認をさせていただく。
 - 今後の作業がいつどこで実施される予定なのか等、今まで以上に丁寧にコミュニケーションをとりながら進める。
- ・現場見学は農業の繁忙期を考慮して10月以降の開催で検討してほしい。
 - 次回の協議会に先立ち、見学内容や開催時期などの企画案を検討し事前に相談する。

■前回の協議会の議論を受けた報告事項等について

<確認内容>

札幌市新幹線推進室より、前回の協議会のご意見に関連する報告事項として、山口処理場における農業ごみの受入の期間について、説明を行った。また、北海道新幹線の札幌延伸に係る啓発活動の今年度の実施について報告を行った。

<主なご意見>

- ・山口処理場での農業ごみの受け入れについて、現状の9月下旬から10月下旬の日曜日のみの搬入に加えて4月上旬から5月上旬も受け入れをするという提案があり、まずは了承する。あわせて、11月下旬から12月上旬についても受け入れてもらえないか。
 - 冬期は雪害により受け入れができないことも予想されることから、雪解け後の対応とさせていただきたい

■今後の地域づくりについて

2つのグループに分かれて意見交換を行った。

① 手稲山口地区の魅力資源について

<主なご意見>

- ・大浜みやこ、サッポロスイカなどの農産物は格別の美味しさで、地域の1番の資源である。
- ・農家の直売所は、大浜みやこ、サッポロスイカをはじめ、新鮮な農産物を手ごろな値段で提供しているため人気がある。
- ・アメダスの観測所があるため、気温が高い場所として「手稲山口」の名前が知られるようになった。気温が高く寒暖差があることが、美味しい農産物が育つことにもつながっている。
- ・郷土芸能の風雪太鼓には札幌市内外から演奏依頼があり、活発に活動を行っている。

② 手稲山口地区の課題について

<主なご意見>

- ・農家等の担い手が高齢化してきている。農家を離れる人も出てきており、今後も耕作放棄地が増えることが懸念される。
- ・農業振興地域に指定されているため、新しい人が移り住んだり、地域で事業を起こしたり、土地を活用することが難しい。
- ・農家を継ぐ世代も出てきているが、地場産業の安定化のために、農産物のブランド化なども考え、道の駅を整備するとよいのではないか。また、道の駅は防災拠点にもなる。
- ・風雪太鼓の練習場所である山口クラブは老朽化してきており、改修してほしい。
- ・山口緑地の西側のパークゴルフ場は、トイレなど高齢者が使いにくい箇所が多いため、改修してほしい。

③ 今後の協議会の進め方について

<主なご意見>

- ・若い人たちに地域づくりについての意見を聞きたい。協議会に参加してもらいたいが、個別に話を聞く機会や、若い人たちだけで議論する場があったほうが発言しやすいのではないか。
- ・周辺の学校の生徒や学生にも意見を聞く機会があると、将来の地域活性化に繋がっていくのではないか。